

2014 年 10 月 1 日

富士ゼロックス株式会社

お客様への価値提供力の強化と生産性の向上を 目指して勤務制度を刷新

富士フイルムグループの富士ゼロックス株式会社（本社：東京都港区、社長：山本 忠人）は、10 月 1 日より、お客様への価値提供力の強化と、さらなる生産性の向上を目指して、勤務制度を刷新します。

【制度概要】

■従来のフレックスタイム制を刷新して、「協働タイム制」を導入

・営業、開発、本社スタッフなど職種や領域を問わず、全社員が「協働」することにより、チームとしての生産性を高めることを狙いとしています。

1. 全社一律のコアタイムを設定（9 時～15 時）
2. 育児（子が小学 6 年まで）・介護に携わる社員については、コアタイムを 10 時 30 分～15 時に短縮
3. 20 時以降の残業を原則不可とし、朝型勤務へのシフト

■営業部門にリモートワーク制度を導入

・いつでも・どこでも・誰とでも業務・コミュニケーションが可能な環境を整え、お客様との接点を強化し、価値創造を支援します。

■育児・介護に携わる社員を対象として、在宅勤務制度を導入

・在宅勤務時は、コアなしフレックスタイムを適用するなど、より柔軟な働き方を可能にします。

新しい勤務制度では、当社の総力を結集して、より付加価値の高い商品やソリューション & サービスをお客様にご提供する体制を整えていきます。一方で、少子高齢化社会の到来を見据え、男性・女性を問わず、育児・介護と仕事を両立して、持続的に活躍できる環境を整備します。

当社では、「意識・風土の変革」・「業務プロセス改革」・「勤務制度の刷新」の 3 つの視点で、働き方の変革に取り組んでいます。変革を実現することにより、企業体質の強化を図っていく一方で、長時間労働を抑制して、社員一人ひとりが心身ともに健康で生き活きと働き、能力を最大限に発揮し、また、女性をはじめとした多様な人材が活躍できる会社を目指してまいります。

Xerox、Xerox ロゴ、および Fuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。